

(略) 昭和30年10月、PTAの役員会において、体育館建築の陳情書を提出することに決定。直ちにPTA会長名で町当局に早期に体育館を新築されるよう陳情したが、町当局としても財政難のため新築の確約を得ることができなかった。たまたま川治小学校が校舎を新築することになったため、川治小学校の体育館の払い下げで建築することが可能になり、翌31年5月の役員会で、川治小学校の体育館を移設できることになった場合は、PTAとして労力その他について全面的に協力するという方針を固めた。次いで7月20日、部落とPTAの合同役員会を開き、体育館設置についての臨時総会を開くことを決め、設置に当たっての条件として、資材は川治小学校の旧体育館の材とし、経費は旧教室120坪分を充てるとした。翌21日、臨時総会が開催された。出席者52名、審議の結果満場一致で体育館を建築することに決定、町議会の議決を待った。

この総会では、建築の決定と同時に協力的体制についても協議され、建築にあたっては一致団結して行うこと、出役については約5人役で2年越して行うこと、期成会役員は後日の役員会で決定することなどを決めている。8月、町議会で払い下げが議決されると屋内体操場設置期成会が結成され、次の役員が選出された。(略)

体育館建築にあたっては、旧川治小学校体育館の解体から運搬、地均し、建築と一切が部落の請負となったのである。8月議会決定と同時に解体運搬作業が始まった。出役については割り当てに従って部落全戸が稼働した。

8月9日には委員が全部、10日から3日間は4割、4割、2割の割合で組内の全戸が出役し、解体と運搬にあたった。

天井に使われている梁は3間から4間もの長尺である。これを馬車に積み、起伏の多い15号道路を何時間もかかって運搬した。

11月に入り、地均し作業が13日間にわたって部落全員の協力で行われた。労力はすべて馬と人である。1日13人ずつと馬2頭が動員され、朝早くから重粘土地の整地に挑んだのである。

翌32年8月、佐藤君衛が建築請負となり建築作業が始まった。9月5日上棟式、10月3日に落成、体育館60坪、玄関^{2.25}坪は部落住民の汗の結晶として完成した。(略)

*注：『富丘小学校開校30周年記念誌』収録「昔を語る」から抜粋・編集

土田：あれは31年になっても富丘には屋体がまだできおらん。ちょうど川治が屋体を改築するといつので、古いのでよいからともらってきた。

安原：地均しだけでも大変だった。

校長：昔の建物なので天井の梁なんか長尺ですが、どうやって運んだんですか。

安原：馬車に積んで今の15号道路を何時間もかかって運んできたんです。道路いっぱいほみ出すようにして通行止めみたいにしてきました。暑い時だった。よく運んできたなあ。

森沢：その年は秋に地均しだけやって、翌年の夏から秋にかけて屋体を建てたんです。

安原：今の屋体は床や壁を張り替えて新しくなったが、当時は古材だったのですき間があったりして寒かったな。開校してから何年かのPTAの仕事は、グラウンド整備と水道と薪の切り出しと屋体だったなあ。(略)

*体育館建築に伴う出役表

屋内体操場並びに便所改修工事出役割当表

工事種目	組合	高台	新興	東部	中央	共和	新地	親和	開進	順天	責任者
砂運搬(トラック)	7	1	1	1	1	1	1	1			佐野
砂利運搬(トラック)	14	2	1	2	2	2	2	1	1	1	〃
埋めもどし	5	1		1	1	1	1				森沢
製材運搬(トラック)	3		1					1		1	三好
基礎掘り	13	2	1	2	2	1	2	1	1	1	横山
中間の基礎掘り	7	1	1	1	1	1	1	1			〃
整地の地均し及びのり	10	2	1	1	2	1	2	1			〃
大工手伝い	5	2			1		2				佐藤
便所基礎掘り	10	2	1	1	1	1	2			2	横山
便所解体	5			1	1		1	1	1		堀田
コンクリートねり	18	4	1	2	3	2	4	1		1	佐野
型わくいり	2	1					1				佐野
砂利選別	2			1		1					〃
釘抜き及び材料出し	5	1	1				1	1		1	〃
わりくり	7	1		1	1	1	1	1		1	森沢
足場	3		1	1		1					佐藤
合計	116	20	10	15	16	13	21	10	3	8	116

屋体建築並びに便所改修工事 予算表

項目	品名	数量	単価	金額
基礎	セメント	90	440	44,600
	砂	5台		39,600
	砂利	10台	トラック	3,000
	鉄筋	8番	400	2,000
木材	製材	40	3,100	140,000
屋根	柱	50	270	48,350
	タシ	30枚	355	13,550
	ふき返し	110坪	100	10,600
	塗料	110坪	120	11,000
				13,200
窓	ペシキ			25,350
	わく	27	450	8,000
	〃	6	350	12,150
	ガラス	100	31	2,100
壁	モルタル仕上	58	800	3,100
防腐剤	重油	1		40,600
釘		40貫	35	400
運搬	木材運搬	トラック		14,000
足場	丸太	200本	含人夫	1,500
電気	工事代	4灯		12,000
大工	賃金			10,000
落成式	接待を含む			115,000
諸経費	これまでの分			20,000
予備				50,000
合計				8,200
				530,000